

# 静岡県の 新型コロナウイルス性肺炎 中等症Ⅱ以上入院患者の状況 (第5報; 2023年5月15日～10月29日, 461例)



静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課

## 静岡県 新型コロナウイルス性肺炎 中等症Ⅱ以上入院患者の調査

【背景】 2023年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症が五類感染症となり、**新型コロナ感染中の死亡者の迅速な確認が困難**になり、その年代や基礎疾患、主要死因等も把握ができなくなった。

一方で、新型コロナウイルスは**流行している変異株が頻繁に変わる**ので、**その重症化の変化もモニタリング**する必要がある。

【目的】 そこで、新型コロナウイルス性肺炎で中等症Ⅱ以上となった入院患者さんや新型コロナウイルスによって脳炎脳症や心筋炎になった入院患者さんの疫学情報を、個人が特定できない範囲で県内病院から提供していただき、**コロナが重症化する年代、ワクチン接種状況、基礎疾患等を集計・分析し、医療機関への情報提供や県民への注意喚起・接種勧奨**等に役立てる。

【方法】 協力していただける県内病院が、**新型コロナウイルス性肺炎 中等症Ⅱ以上**の患者さんの**年代・性別、接種回数等、基礎疾患等、日常生活自立度**などをGoogle・フォームに入力し、県が定期的に集計・分析し、医療機関への情報提供及び県民への公表を行う。

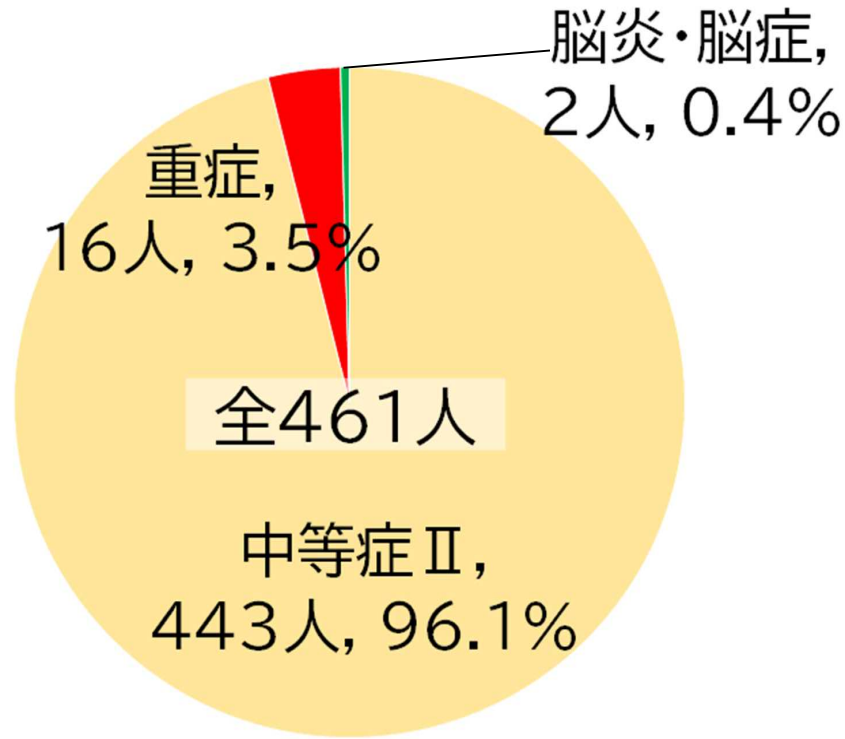
## 新型コロナウイルス感染症の肺炎の重症度分類（医療従事者が判断）

重症度	症状	パルスオキシメータの数值 (SpO2)
軽症	呼吸器症状なし または 咳のみで呼吸困難なし いずれの場合も肺炎所見を認めない	96%以上
中等症Ⅰ	肺炎所見あり 呼吸困難あり	93.1%~ 95.9%
中等症Ⅱ	肺炎所見あり 酸素投与必要	93%以下
重症	人工呼吸器が必要 ICUに入室	

**調査対象**  
他は脳炎脳症、心筋炎

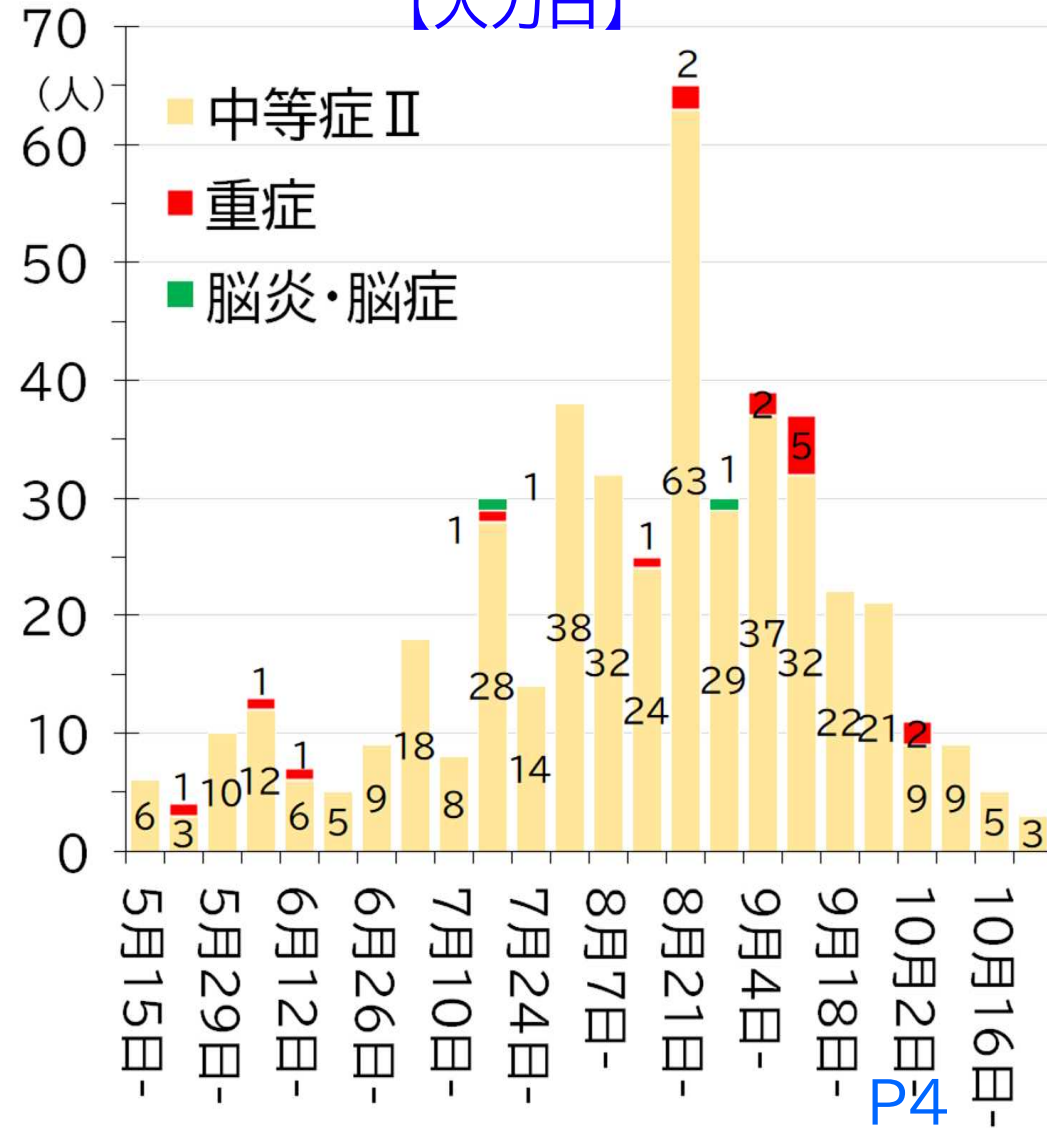
# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 (2023.5/15~10/29) ①中Ⅱ/重・週

【中等症Ⅱと重症等の割合】



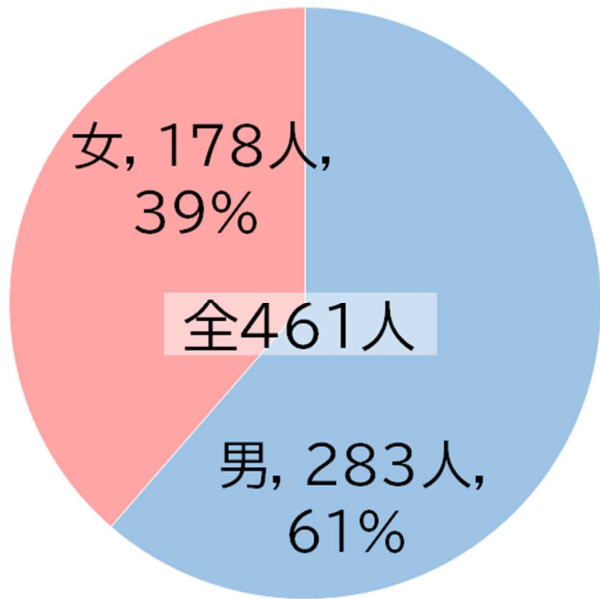
- 中等症Ⅱが96%と大半を占めた
- 入力していただいた医療機関は23病院
- 8月21日からの週の入力が65人と最多
- この期間の県内の変異株はほぼXBB系統

【入力日】

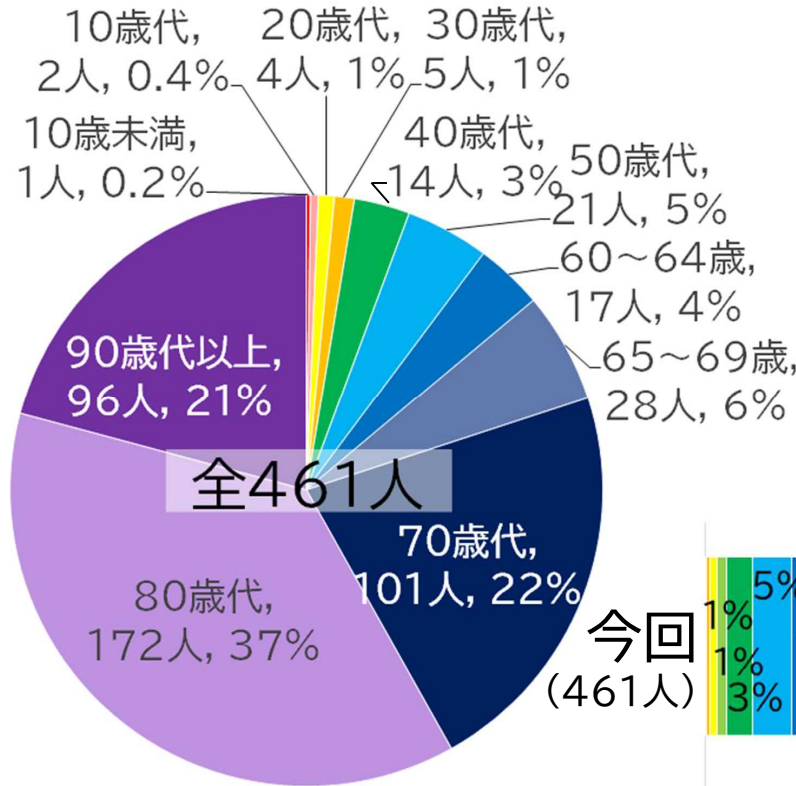


# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ②性・年代

## 【性別】



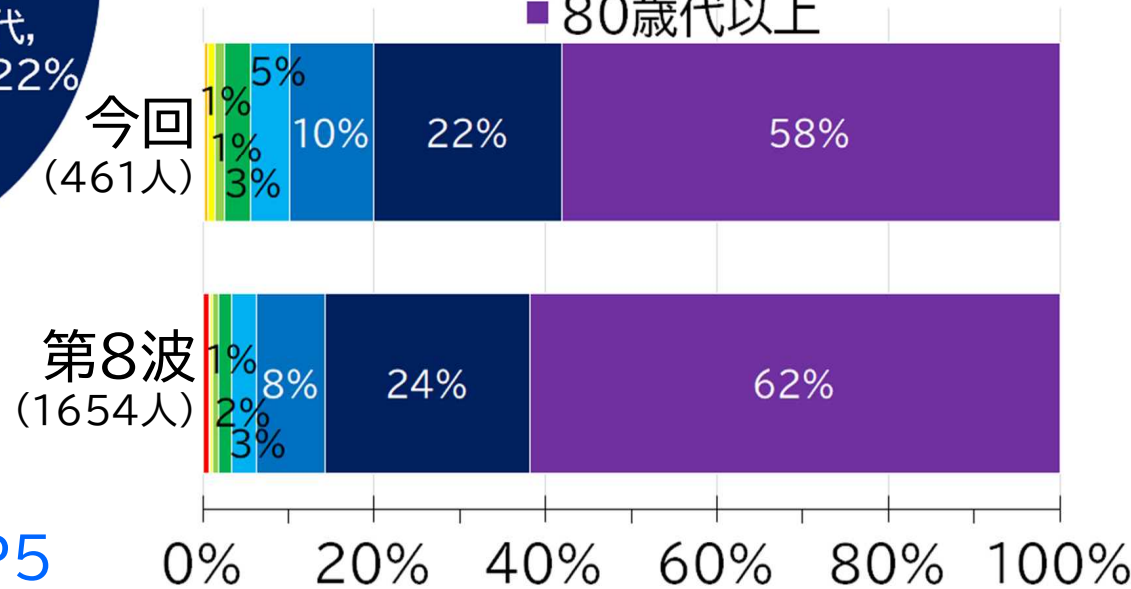
## 【年代分布】



## 【年代の第8波との比較】

※2022年12月～23年2月

- 10歳未満
- 20歳代
- 40歳代
- 60歳代
- 80歳代以上
- 10歳代
- 30歳代
- 50歳代
- 70歳代

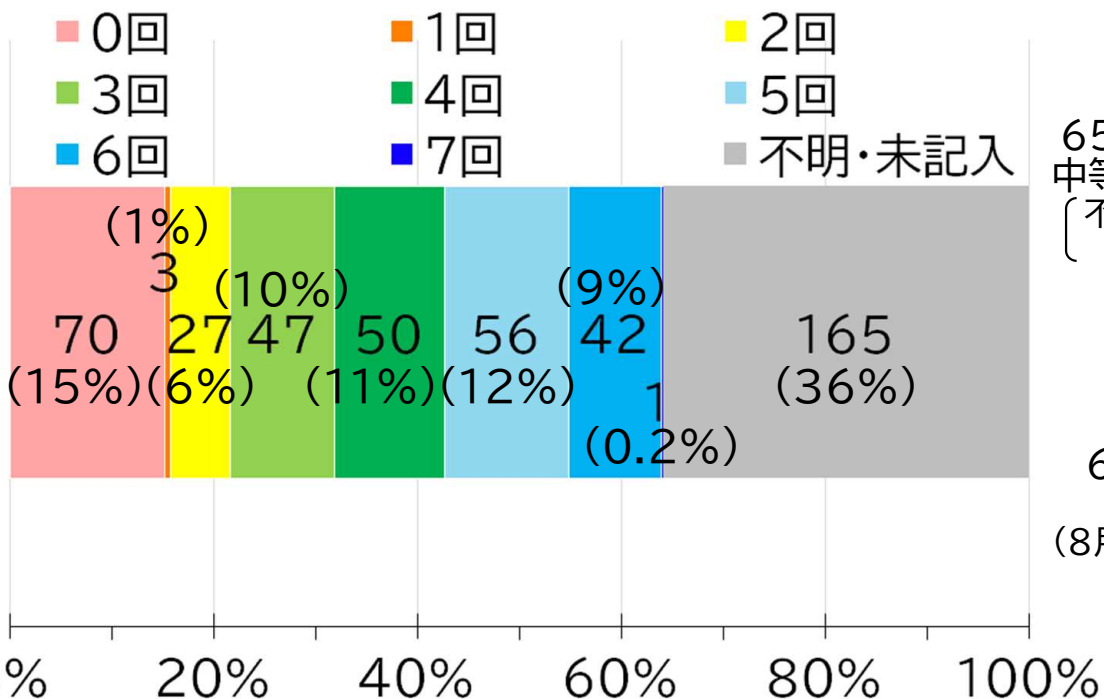


P5

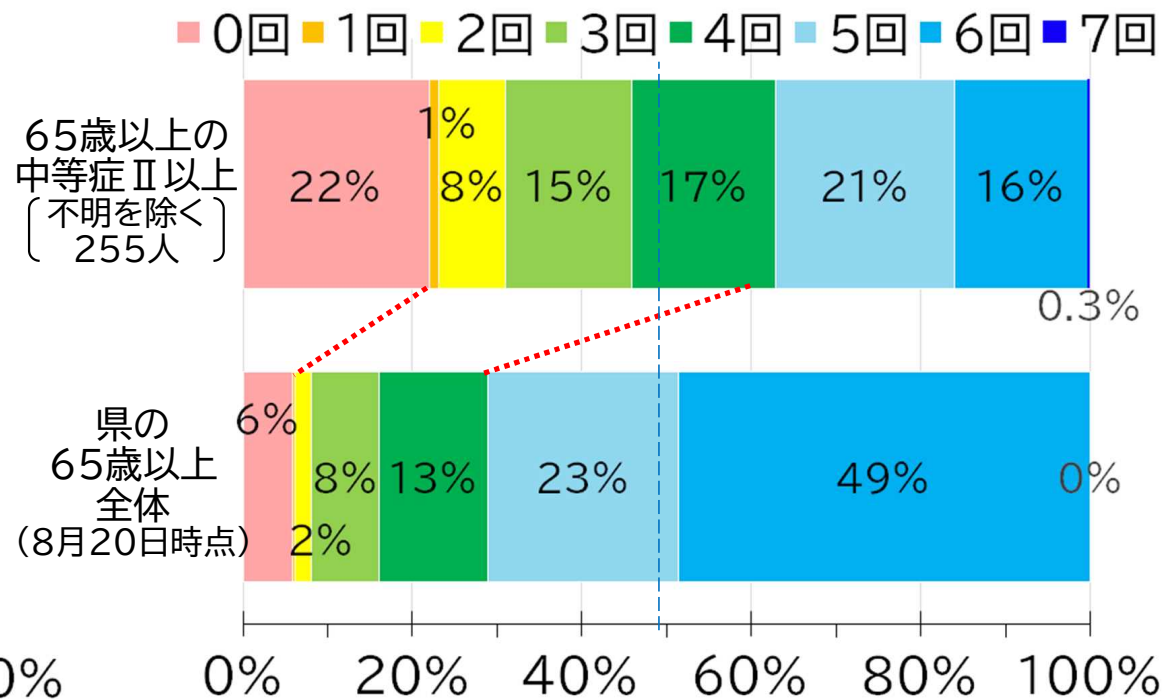
- 男性が約6割を占めた(女性:男性=1:1.6)
- 80歳代が最多で約4割を占めた
- 65歳以上が397人で、86%を占めた
- 第8波時と比べて70歳未満の割合が6%増加

# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ③接種回数

## 【全年代の接種回数】



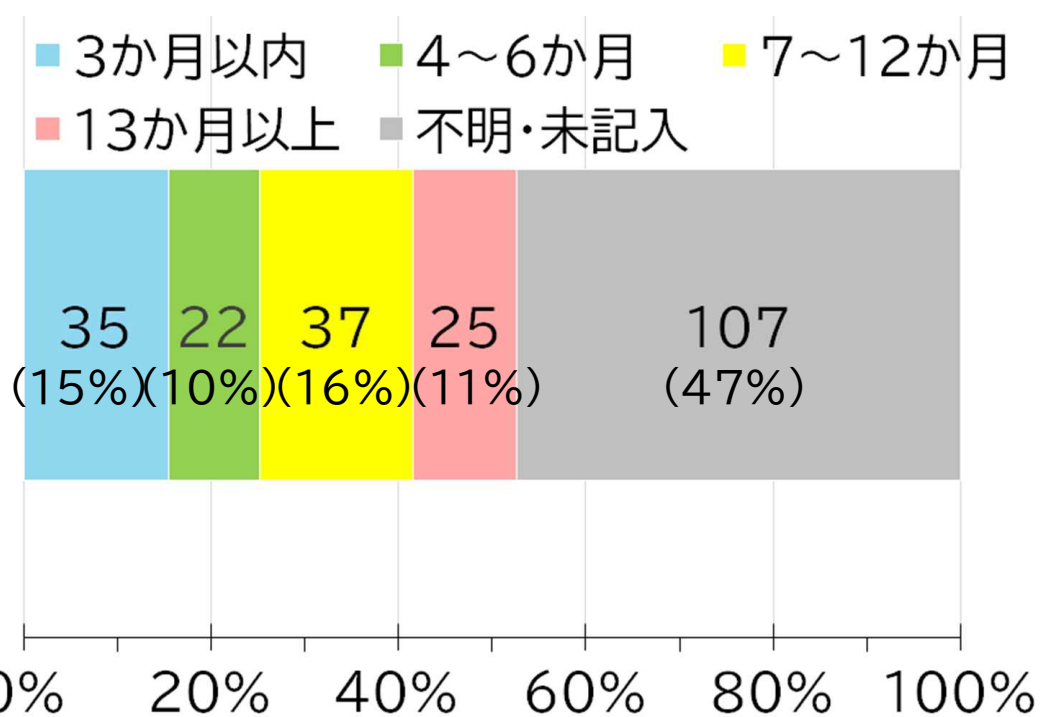
## 【65歳以上での県民全体との比較】



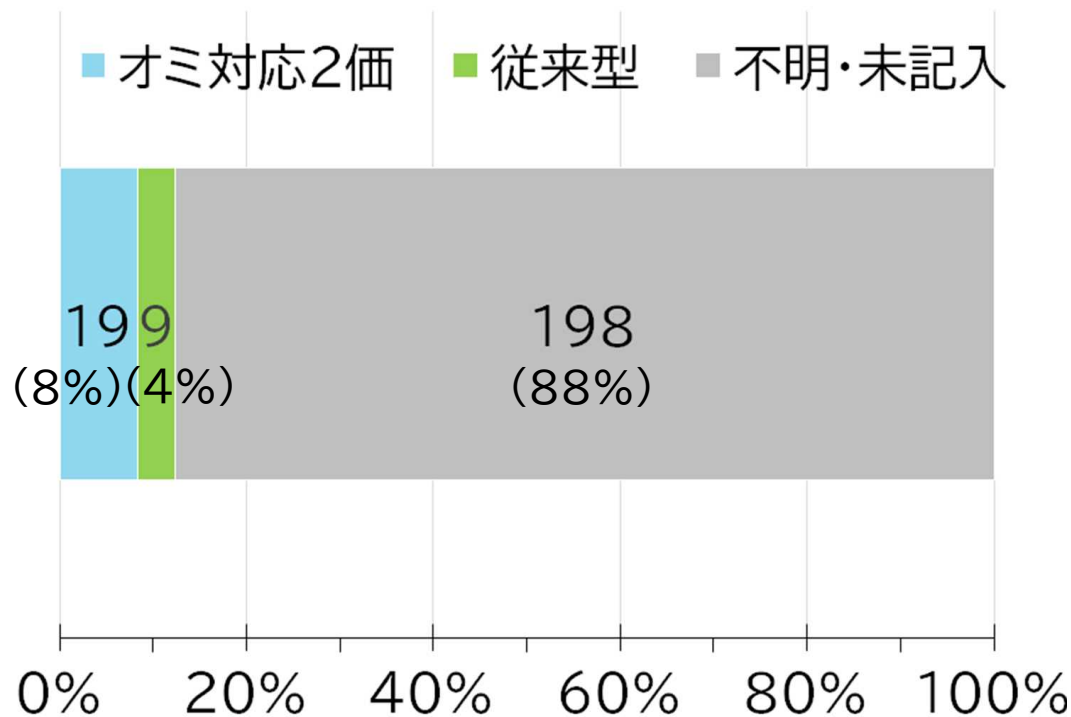
- 中等症Ⅱ以上の人全体では、接種回数は0回が最多で15%
- 65歳以上の中等症Ⅱ以上の人で接種回数判明者は、県の65歳以上全体と比べて、未接種者(0回接種)が多く(22%対6%)、5回以上接種者が少ない(37%対72%) P6
- 接種回数の中央値は、65歳以上の中等症Ⅱ以上の人4回、県の65歳以上全体は5回

# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ④最終接種時期・種類

## 【最終接種からの期間】



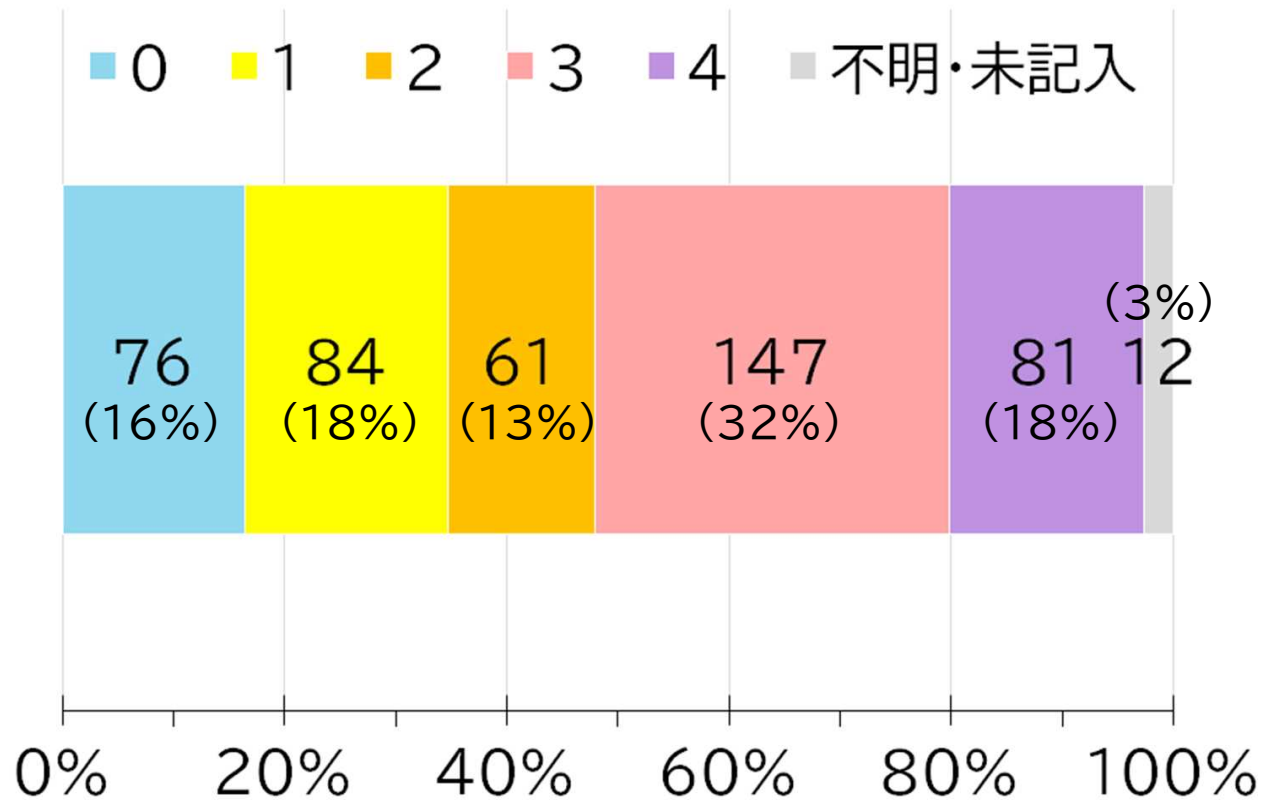
## 【最終接種ワクチンの種類】



• 不明が非常に多いが、判明している人では、最終接種からの期間は7～12か月が多く、最終接種ワクチンはオミクロン株対応2価ワクチンが多かった

# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑤日常生活自立度

## 【コロナ罹患前の日常生活自立度(パフォーマンス・ステータス;PS)】



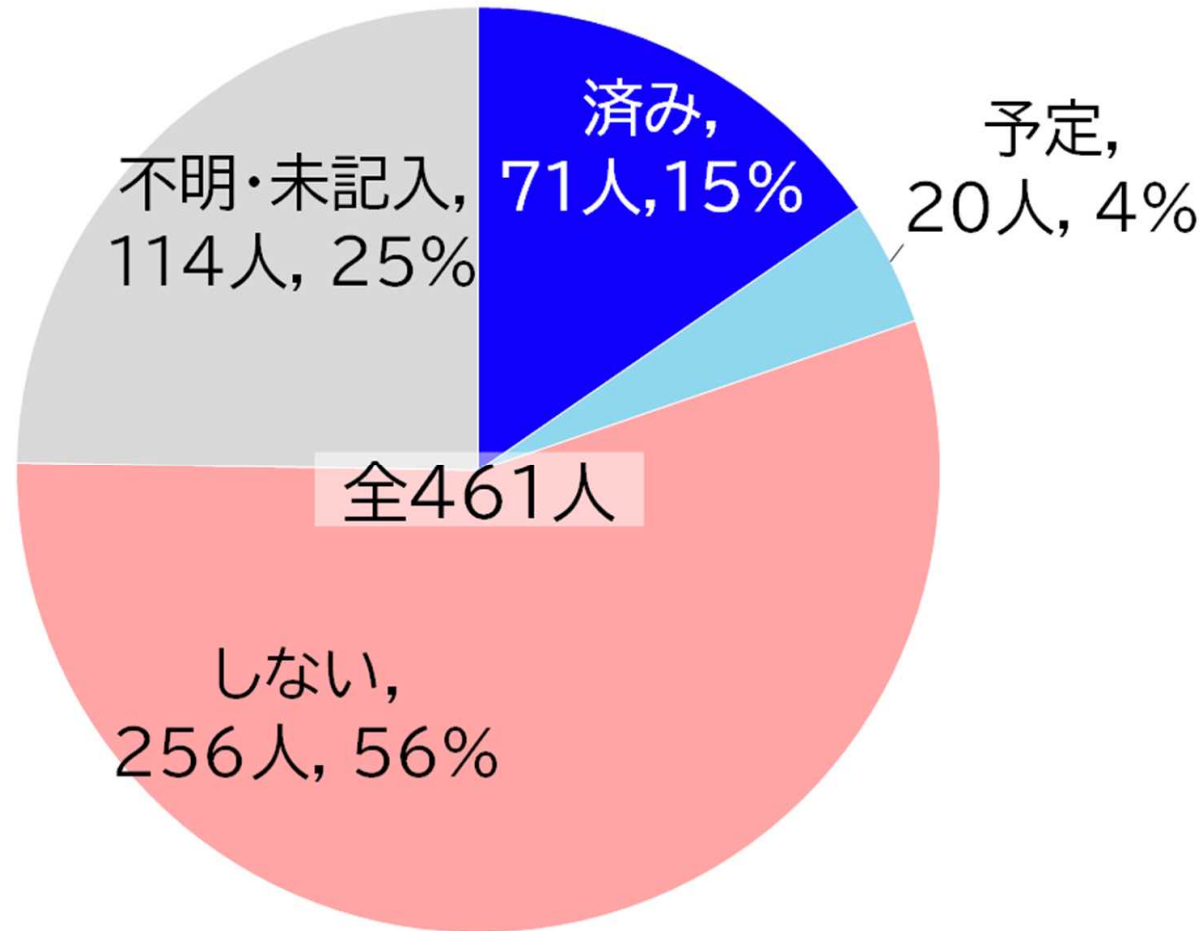
- 0;まったく問題なく活動でき、日常生活が制限なく行える。
- 1;肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。例:軽い家事、事務作業
- 2;歩行可能で、自分の身のまわりのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の50%以上はベッド外で過ごす。
- 3;限られた自分の身のまわりのことしかできない。日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす。
- 4;まったく動けない。自分の身のまわりのことはまったくできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

• 何らかの日常生活の活動制限(PS 1以上)がある人が、約8割を占めた



# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑥ゲノム解析検体提出

## 【鼻咽頭拭い液等検体のゲノム解析用提出】



- 予定も含めてゲノム解析への検体提出は、約20%にとどまっている

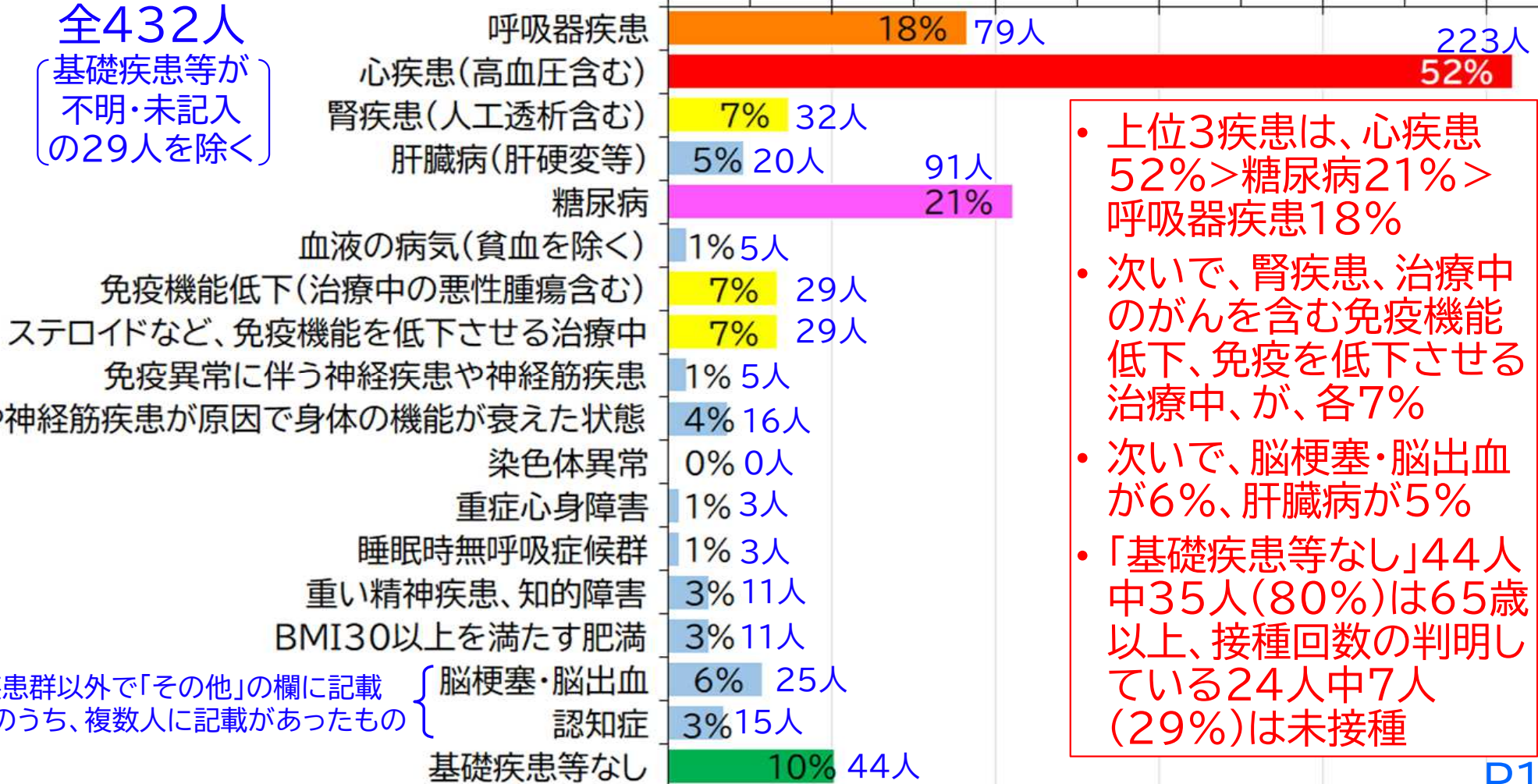
# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑦基礎疾患等重症化リスクの有無

## 【ワクチン接種が勧奨される基礎疾患等、重症化リスクの状況(複数回答)】

全432人

(基礎疾患等が不明・未記入の29人を除く)

0% 10% 20% 30% 40% 50%



- 上位3疾患は、心疾患52%>糖尿病21%>呼吸器疾患18%
- 次いで、腎疾患、治療中のがんを含む免疫機能低下、免疫を低下させる治療中、が、各7%
- 次いで、脳梗塞・脳出血が6%、肝臓病が5%
- 「基礎疾患等なし」44人中35人(80%)は65歳以上、接種回数判明している24人中7人(29%)は未接種

上記15の疾患群以外で「その他」の欄に記載された疾患のうち、複数人に記載があったもの

# 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 結果 ⑧65歳未満で接種回数判明41人の状況

年代	接種回数	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回			
10歳代以下		PS0 他		PS3 神	【略号等】 男 女 PS0~4;パフォーマンス・ステータス0~4、心;心疾患(高血圧含む)、糖;糖尿病、肥;BMI 30以上の肥満、肝;肝臓病(肝硬変等)、神;神経筋疾患、免;免疫機能低下状態、精;重い精神疾患、睡;睡眠時無呼吸症候群、血;血液疾患(貧血を除く)、重;重症心身障害、なし;基礎疾患等なし						
20歳代		PS0 なし	・65歳未満の全59人での多い基礎疾患は、心疾患18人(31%)、糖尿病12人(20%)、肥満8人(14%)				PS0 なし				
30歳代		PS0 なし			PS2 免	PS4 重,精		PS4 重			
40歳代		PS2 心	PS3 心		PS0 肝	PS3 神	PS3 糖,肥	PS3 肝	PS0 なし	PS1 心,糖,肥	□ 接種回数が判明している41人中14人(34%)が未接種(0回)だが、県民全体では65歳未満の未接種者は23%(8月20日)
		PS0 心,肥					PS0 免				
50歳代		PS0 肥	PS0 心,糖		PS0 肥	PS0 精	PS0 心	PS0 免,神	PS3 糖	PS0 心,肝	PS3 心
		PS0 糖,血	PS2 心		PS2 なし		PS2 心,糖		PS1 心,免		
60歳代前半		PS1 肝,糖,肥	PS1 免,肝		PS3 心,呼		PS1 糖,神	PS0 心,糖		PS0 睡	PS3 不明
		PS0 肝,糖,腎	PS0 なし								

## 静岡県 コロナ肺炎中等症Ⅱ以上調査 第5報 結果のまとめ

1. 新型コロナウイルス性肺炎で中等症Ⅱ以上の入院患者さんの年代、ワクチン接種状況、基礎疾患等に変化がないか、5類移行後も追跡するため、県内病院の協力を得て、患者個人が特定されない疫学情報を随時収集し、定期的に集計・分析し、医療機関へ還元、県民へ公表する。
2. 今回の収集期間は5月15日から10月29日の24週間で、23病院から461人の情報提供に協力いただいた。なお、この期間の県内の変異株はほとんどXBB系統であることが分かっている。
3. 461人中、中等症Ⅱ443人(96%)・重症16人(4%)・脳炎/脳症2人であり、男性が283人で約6割を占めた。年代は80歳代が最多の172人で37%であり、65歳以上が397人で86%を占めたが、第8波の年代分布と比べて70歳未満の割合が14%から20%へ6ポイント増加した。
4. ワクチン接種状況では、65歳以上の中等症Ⅱ以上の人は、県の65歳以上全体と比べて、未接種者が多く(22%対6%)、5回以上接種者が少なく(37%対72%)、接種回数中央値も少なかった(4回対5回)。
5. コロナ罹患前の日常生活自立度は、何らかの活動制限のある人(パフォーマンス・ステータス1以上の人)が、約8割を占めた。
6. 重症化リスクが懸念され、ワクチン接種が勧奨される基礎疾患等は、44人(10%)を除いて有しており、上位3疾患は、心疾患(高血圧を含む)52%、糖尿病21%、呼吸器疾患18%であった。がんなどの疾患やステロイド等の治療薬による免疫低下状態も14%を占めた。
7. 以上より、5類感染症移行後の新型コロナウイルス感染症も、重症化する人の大部分は、基礎疾患のある高齢者で、ワクチン接種回数の少ない人の割合が多い傾向にあり、基礎疾患のある高齢者に対する接種の重要性は変わらず、接種勧奨も引き続き必要と考えられた。
8. 65歳未満で中等症Ⅱ以上の肺炎になった人で、ワクチン接種回数が判明している人の約3分の1は接種回数が0回(未接種)であった。また、65歳未満の基礎疾患上位3つは、心疾患、糖尿病、肥満であった。 P12